

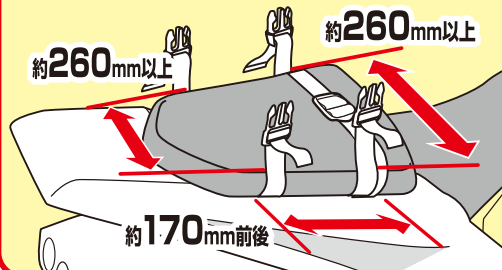
**適合**

購入前に下記条件をご確認の上、ご購入ください。

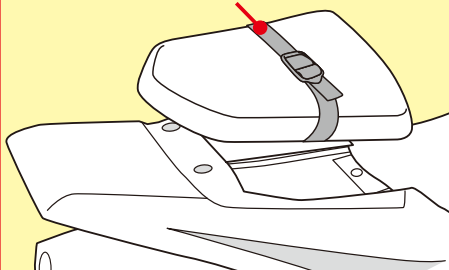
Kシステムベルトの取付条件

シートを利用して取り付けたいときにお勧め

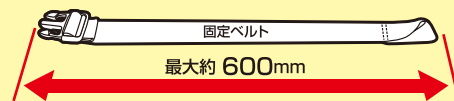
- バイクのシートにシート固定ベルトを取付ける位置が、下図の範囲であること。



- シートが開閉又は着脱できること。
シート固定ベルト(グレー)
全周:1000mm以下

**固定ベルトの取付条件**

車体に取り付けたいときにお勧め



- 固定ベルトの長さは約600mmです。バッグから500mm以内の車体フレーム・フック等に取り付けてください。
- 取り付け部がプラスチック等の強度が弱い場合は取り付けをお避けください。
- まれに後方にフック等が無い車種がございます。その場合はモトフィズツーリングフックバー、カーゴフック、プレートフック等のご使用をお勧めします。

**取付上の注意**

- シート・テールカウル・ウィンカーの形状等により、まれに本製品を装着できない場合があります。事前に取付車両の形状を良くご確認の上、ご購入ください。
- バッグは走行に支障のない、安定した位置に装着してください。シート形状や取付位置等により装着後も安定しない場合がありますので、走行前に必ず操縦に支障のない事を確認し、また脱落等の無いように確実に装着してください。
- 走行による振動等でKシステムベルトは緩む場合があります。走行前には緩みがないか必ずチェックし、常に適切な装着状態で使用してください。
- バッグ本体やベルト・バックル等が車両に当たる場合は、事前に市販のプロテクターシート(モトフィズプロテクターシート:別売)等でその部分を保護する事をお勧めします。
- エンジン・マフラー等、車体の熱くなる部分には絶対に触れる事の無い様に装着してください。
- 車両の回転部分・可動部分(ホイール・チェーン等)に絶対に触れないよう装着すること。
- バッグを使用しない時にバッグやベルト等を長時間シートに取付けた状態ですと、色移りする事がございます。特に暑い夏場等はこまめに取り外してください。
- Kシステムベルト等に傷やほつれが生じた場合は、破損、脱落の恐れがありますので必ず交換してから使用してください。(補修パーツリスト参照)
- 本製品を改造して取り付けないでください。

**使用上の注意**

- 荷物の無理な押し込みは確実な装着を妨げる恐れがあるのでお避けください。
- 荷物は前後左右均等に位置、重量をバランスよく収納してください。
- 法定速度の範囲でご使用ください。
- 林道や砂利道など荒れた路面では振動でバッグが脱落する恐れがあります。常に緩みチェックを行い路面の状況に充分注意して走行してください。
- 使用中に異常を感じたら直ちに車両を安全な場所に停止し、バッグを確認してください。破損している場合は、使用を中止してください。
- 本製品の最大収納重量 5.0kg です。最大積載重量を超える積載は脱落や車両の破損の恐れがあるのでお避けください。また、車両の積載量を超えないよう積載してください。
- 容量と重さは比例しません。車両の制限や法規上の制限をお守りください。
- 素材の性質上、鋭利な物(ハサミ等)や突起物(ドライバー等)を収納した場合、本体が破ける場合がありますので収納しないでください。
- 火災の原因になりますので、携帯ガソリンボトル、ガスボンベ等引火性の強い危険物は収納しないでください。
- レインカバーは付属しておりますが、完全防水ではありません。水没や激しい雨天での走行では浸水する可能性があります。電子機器や大切な荷物はビニール袋等と併用し、より高度な浸水対策をお勧めします。また走行風によるレインカバーのバタツキは市販のコード又は、モトフィズキャリアリングコード等で固定してください。
- バッグは生地や縫製方法など通常の使用での耐久性は充分に考慮されていますが、着脱時、フックやバックルの扱いなどで無理な力を加えたり無理な扱いをすると破損する恐れがあります。大切にお取り扱いください。
- 本製品を長時間取り付けていると色移りする事がございます。特に暑い場所等は本製品を装着したまま放置しないでください。
- 寸法、容量等の表記に付きましては、個体別の誤差が生じる場合がございますのでご了承ください。
- 仕様は改良のため、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書に書かれている指示及び警告に従わない誤ったご使用により損害が発生した場合、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

保管とお手入れの方法

- 表面等の汚れは、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取って、良く乾燥させてください。
- 雨天走行等で濡れた場合は、そのままにせずバッグ内外の汚れと水分を拭き取りすべてのファスナーを開いて、日陰の風通しの良い所で乾燥させてください。
- 撥水性能を維持するため、バッグの表生地定期的に市販の撥水スプレー等でコーティングする事をお勧めします。
- 保管の際は乾拭き・陰干しをしてから湿度、温度が低く風通しの良い場所に保管してください。

**注意**

ベンジン、シンナー、ガソリン等の有機溶剤の使用、及び水での丸洗いは生地を傷める原因となりますのでお避けください。